

バンクーバー便り2

バンクーバー時間：2023年4月4日火曜日午前10時31分

日本時間：2023年4月5日水曜日午前2時31分

今日のバンクーバーは晴れて透明な青空が頭上を覆っていますが、外気はまだ寒く6℃程度で、日陰にいと“武者震い”が起こります。

さて、今日は家の近くの動物についてお便りします。カナダは自然と都市が一体になった感じですが、家の近くにあるサンセット公園には鳥やリス、稀にアライグマなどを見ることがあります。カナダ人では犬がお好きなようで、ハスキー犬やエスキモー犬などの屈強なイヌの散歩に引きずり回されている女性もみかけます。近くにドッグランもあり、イヌたちにはノビノビとした暮らしが約束されているようです。ただし、我が家にはシャムの雑種(雌)とアメショーの血統よろしきネコ(雄)がいますが、窓辺の日当たりで寝て暮らしています。

鳥については詳しくありませんが、カモメとカモは分かります。2月頃にカモメの大群が押し寄せ、雪解けでまばらな緑に覆われた公園の丘が、まるで積雪をしたようにカモメで真っ白になるほどで、その数の多さに圧倒されました。圧倒されたのは、実は、カモメの大群が飛び去った後でした。頭の白い緑色の芋虫のようなフンが公園や道に足の踏み場のないほどに散在していたのです。むろんよけて通ることは至難の業で、靴の洗濯が必要です。また公園の小さな水たまりにはカモ夫婦が住んでいて、近寄ると逃げもせず、逆にガッガッと歓び？の声をあげて近寄ってきます。近所の人の話では3年くらい前から住んでいて、雛が生まれたとのことで、夫婦にはこの小池がお気に入りのようです。ただ、現在の雄カモ(娘が「クミ君」と名付けています)は最初の雄とは違うとのことで、雌カモ(娘は「モカちゃん」と安易な名前を付けました)は再婚した夫婦のようです。こんな風景を見ていると、大自然の中に人が勝手に住み込んだことを実感します。

バンクーバーには水族館がありますが、動物園はありません。バンクーバー自体が動物たちに観察されている人間動物園かもしれません。多種多様な人種が集まっていますので、自然の動物たちにとっては見ごたえのある人間動物園でしょう。

《小池に住む仲の良いカモ夫婦》



《公園を訪れたカモメの大群と娘の倫道》

